

地盤工学におけるリスクマネジメントに関する事例研究委員会
第 2 回委員会議事録 (案)

場 所：地盤工学会会議室

日 時：2008 年 5 月 20 日 15 時～17 時

出席者：日下部委員長，大久保幹事，伊藤幹事，正垣委員，薦田委員，小嶋委員，蔵田委員，石井委員，伊奈委員，大日方委員，岩崎委員，大里委員，笹倉委員，上野委員，外狩委員，福田委員，中山委員，岸田オブザーバー，稲垣オブザーバー

欠席者：西田委員，萩原委員，大和オブザーバー

1. 委員会審議事項

1) 開会の挨拶 (日下部委員長)

2) 地盤工学研究発表会 (広島) で行う DS-6 の紹介 (岸田オブザーバー)

本部にて DS を行う。関東支部の各委員会の紹介を安田先生 (東京電気大) に、話題提供として各委員会代表者 + 飯塚先生 (関西支部)，尾上先生 (北陸支部) にお願ひ。日下部先生の司会でディスカッションを行う。中身として、新しい視点 (BCP, リスク) についての議論を中心に、関東支部の動きを他支部に情報発信することで、地盤工学会全体へ波及効果をねらう。

3) 前回議事録の確認 (大久保幹事)

第 1 回委員会の議事録について確認を行い、了承された。

4) 各事例収集 WG についての説明

伊藤幹事から事例収集の全体案について説明

法律・保険関係の事例収集については、先行して WG を立ち上げて活動

法律関係事例 WG

事例収集作業方針について大久保幹事・石井委員より説明

現状のメンバーでマンパワーが足りるかどうか疑問

→600 件以上のデーターを委員全体で分担して類型化する。

(要点を次回委員会までに絞る)

法律家が考える類型と技術者が考える類型を橋渡しする (リスクコミュニケーション)。最終的には法曹界・技術者・市民が同じ土俵で議論できるようにする

保険関係事例 WG

建設コンサルタント賠償 160 件から地盤の事故をピックアップ。

現在、原因を追及する部署に依頼して地盤に関連する事故情報の抜き出し作業を行っている。個人情報等を抜いたデーターを利用して専門家としての分析を実施していく。

文献調査 WG

Géotechnique に 2005 年に 2 回特集号が出ている。

6 月に全地連から地質リスクの特集号が出る。

下記の活動項目について、リーダーを決めた。

地盤リスクの事例研究

リーダー：笹倉委員・正垣委員

地盤リスクマネジメントの事例研究

リーダー：稲垣オブザーバー・上野委員

契約に関する事例研究

リーダー：岩崎委員

※次回委員会までに活動方針等を決める

5) 委員専用の WEB・掲示板の使用方法（大里委員）

掲示板の操作方法・説明があった

6) 次回委員会の予定（第 3 回目以降の日程）

7 月 22 日 14:00～16:30

話題提供者

小嶋委員（不動産に関すること）

大和オブザーバー（住宅の地盤に起因する事故に関すること）

9 月 29 日 14:00～16:30

→ 9 月 30 日 14:00-16:30 に変更

話題提供者

未定

7) その他

2. 話題提供

1) 法律（判例）関係について（薦田委員）

- ・ 行政訴訟の類型→明確な基準がある
- ・ 差し止め・損害賠償の類型は揺らいでいる。
- ・ 基準の話に関しては、訴訟との関連で明確な整理は出来ているわけではないので、地盤リスク委員会で提示することで新しい基準となるのでは？

2) 国の災害査定について（大日方委員）

- ・ 平成 17～18 年に災害査定官として全国飛び回った経験から、国の災害査定の現状に

ついて話題提供があった。

- ・ 地方は 1.7%負担すれば良く，災害復旧事業に対しては非常に手厚い。
- ・ 設計基準とは無関係に比較的緩い基準でも災害復旧事業として適用。

3. 配布資料

- 資料2-1. 議事次第
- 資料2-2. 前回議事録（案）
- 資料2-3. 委員会名簿（5/20 改訂版）
- 資料2-4. 研究発表会 DS-6 について
- 資料2-5. 事例収集 WG（？）発足について
- 資料2-6. 文献（大阪会議の GeoQ と Geobrain の論文）
- 資料2-7. 事例収集作業方針（法律関係事例収集グループ）
- 資料2-8. 薦田委員の話題提供資料
- 資料2-9. 大日方委員の話題提供資料

以上